

第 88 回 ここからカフェ九品仏

うそまことさん
おきらく DE ショー

日時：2025 年 11 月 15 日（土）
13:30 ～ 15:30

会場：九品仏複合施設 2 階
世田谷区奥沢 7-35-4

参加費：300 円 ※要予約

申込・問合せ：090-3961-8514
(ここからカフェ九品仏 湯澤)

第 115 回 お隣さまお茶会

認知症になっても自分らしく生
きていくための一歩として
希望のファイルを作りましょう

ある日の思い出や、好きな歌、
楽しいエピソードなどなんでも、
私を記録してみませんか

講師：九品仏あんしんすこやかセンター
みなさん

日時：2025 年 11 月 10 日（月）
13:30 ～ 15:30

会場：space えんがわ inn
玉川田園調布 2-12-6

参加費：500 円 ※要予約
申込・問合せ 03-3721-8699
玉川まちづくりハウス

第 58 回 玉田シニアサロン

11 月の玉田シニアサロンは
お休みです。

ハウスの会員数

特別正会員 5 名
正会員 28 名
ニュース会員 58 名

11 月号にかかわったひと
伊藤雅春 染野和夫
高橋阿貴 小西玲子
柴田希美絵 池田麻未
昆野敬子

10

ハウススケジュール&フレイバック

予定・詳細は HP <https://tamamati.com/> にてご確認ください

2 日（木）	楽多の会定例会 / デイホーム玉川田園調布
3 日（金）	住宅まちづくり総合相談 / 砧総合支所
5 日（日）	玉田シニアサロン / 玉川田園調布会館
7 日（火）	プレーリヤカーでの公園遊び / ねこじゃらし公園
8 日（水）	プレーリヤカーでの公園遊び / 奥沢（タイヤ）公園
9 日（木）	住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
10 日（金）	玉川まちづくりハウス定例運営委員会 / スペースえんがわ inn
12 日（日）	つながる街角祭り / デイホーム玉川田園調布
15 日（水）	街角保健室 / スペースえんがわ inn
16 日（木）	プレーリヤカーでの公園遊び / 奥沢（タイヤ）公園
19 日（日）	タマデンマルシェ / アビターレ前（玉田 1-13-1）
20 日（月）	お隣さまお茶会 / スペースえんがわ inn
21 日（火）	プレーリヤカーでの公園遊び / ねこじゃらし公園
23 日（木）	住宅相談ネットワーク会議 / 世田谷区役所
	住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
25 日（土）	ここからカフェ九品仏 / 九品仏複合施設 2 階
26 日（日）	らくだの集い / デイホーム玉川田園調布

11

ハウスカレンダー

5 日（水）	プレーリヤカーでの公園遊び	奥沢（タイヤ）公園
6 日（木）	楽多の会定例会	
10 日（月）	お隣さまお茶会	スペースえんがわ inn
	住宅まちづくり総合相談	
13 日（木）	住宅まちづくり総合相談	世田谷総合支所
14 日（金）	玉川まちづくりハウス定例運営委員会	
15 日（土）	ここからカフェ九品仏	スペースえんがわ inn
16 日（日）	タマデンマルシェ	九品仏複合施設 2 階
18 日（火）	プレーリヤカーでの公園遊び	アビターレ前（玉田 1-13-1）
27 日（木）	住宅まちづくり総合相談	ねこじゃらし公園
		玉川総合支所

編集後記

つながる街角祭り(10 月 12 日)に、参加してくださったみなさま、本当にありがとうございました。紙面を借りてになりますが、心から御礼申し上げます。

今号は、みなさまから送られた写真で紙面を構成しています。重ねて御礼申し上げます。

街角保健室、課題は満載ですが、もうすこしと思っ
て見守っていただけると嬉しいです。

よろしく願いいたします。

玉川まちづくりハウスニュース

みんなでホイッ！

11
2025

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085

東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10

Email house@tamamati.com

tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986

URL <https://tamamati.com>

玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人（NPO 法人）です。

10 月 12 日（日）「つながる街角祭り」を開催しました。 午前の部

今年度、玉川まちづくりハウスが、取り組む「世田谷区
地域の絆連携活性化補助事業」『九品仏地区の多様な活動
団体による街角保健室 2025』として、「つながる街角祭り」
をデイ・ホーム玉川田園調布で開催しました。

その報告を 11 月号と 12 月号でお届けいたします。

午前中は、（一社）輝水会の手塚さんをお願いして、ボッ
チャ、モルック、そして、東京在宅サービスの相澤さんによ
るハンドアーチェリーの体験会。いずれも障がい者、高
齢者、お子さん問わず誰でもが楽しめるスポーツです。



モルックは、投げ棒（モルッ
ク）で木のピン（スキットル）
を倒し、先にちょうど
50 点に到達することを目指
すゲームです。倒れたスキッ
トルの本数または数字が得
点となり、50 点を超えると
25 点に減点されます。



モルックの木のピン（スキットル）
正式競技では木製のものが使わ
れます。

ボッチャ やってみよう！



ボッチャ公式球
直径 8cm、重さ 270g
結構重たいです



モルック、ハンドアーチェリーは、はじめての方も多く、
ボールや棒を投げるだけに見えて、簡単そうなのですが、オ
リンピック種目になるだけあって奥が深く、お年を召した方
も、お子さんも、にぎやかに、一緒に楽しめました。九品仏
地区で、あちらこちらで開催されています。ぜひ一度体験し
てみてください。



ダーツのようなボードに針のつ
いていないピンをあて、得点を競
います。



～午前のプログラム～

手塚美さん（（一社）輝水会 レジリエンス・スポー
ツ）：ボッチャ、モルック
相澤さん（㈱東京在宅サービス）：ハンドアーチェリー

お二人の指導の元、年齢、性別、障がいの有無に関
わらず全ての人がともに楽しめるスポーツを体験。
みなさんやってみましょう

10月12日（日）「つながる街角祭り」を開催しました 午後の部

お昼休憩をはさんで、午後は各種相談コーナー、九品仏あんしんすこやかセンター、ふくろうクリニックのみなさんによる血管年齢測定器や、インボディ体組成計器が運ばれてきて、この機会に！と自分の身体を点検。

介護用品レンタルのヤマシタからは、歩行分析アプリ「CareWiz トルト」を持ってきていただいて、スタッフもみな、自分の歩き方を見てもらいました。実年齢より若いまたは、年上か結果にみな一喜一憂。



インボディ測定
体重 体脂肪率 体内年齢…



ヤマシタによる歩行解析

ヤマシタのAI歩行解析
についてはこちら

在宅ケアを語る会のケアマネージャーの近藤さんの介護相談、ファイナンシャルプランナーの吉川さんのお金の相談、PON長田まき子さんの栄養相談、それぞれがじっくりお話されていました。参加者アンケートからもじっくり話ができてよかったという意見が多いのですが、課題は集客力！広報の力不足が反省材料です。もう一歩前にすすめるために何が必要か、考えなくてはと思います。

暮らしのつづき 2025年11月



引越をしました

10月下旬に引越して、まだどたばたしています。慣れ親しんだ近所の景色が変わり、散歩して近所の地図を頭の中で創り直す日々です。

金木犀が生えている場所や、犬がいる家の場所、珍しい鳩小屋、オープン当時から通った料理屋さん、行き過ぎて注文を覚えていたチェーンのコーヒー屋など、前の家の周りも大好きでした。今の家の周辺も開拓していきたいです。

～午後のプログラム～

参加団体による各種相談コーナー
体力測定 歩行測定 お出かけ美容院
栄養相談 相続相談 介護健康相談

みんなでつくる街角コンサート

日丸真さん（ふくろうクリニック等タカ 音楽療法士）

受付は、九品仏地区社会福祉協議会の板坂さんをお願いしました。あわせて、「食で応援プロジェクト」（ご家庭で余っている食品を持ち寄り、必要とされている方へお届けするフードドライブ）ボックスも出していました。このフードドライブは、世田谷区全体の社協の取り組みでもあります。見かけたら、ぜひご協力ください。



相談の様子



モノの循環

引越といえば片付けとゴミ捨て。どうしてこんなに大量にモノがあるのかと呆然としながら頑張って整理の日々。

ブックオフの宅配買取はかなり使い勝手がよく、簡単に予約できて、本以外の家電も引き取ってもらえてとても助かりました。

買い取ってもらったお金で、古くなっていた湯沸かしポットを買い替えたりして、こういうことが、モノが一生循環していくということなのだ、と不思議な気持ちになりました。

地域 GAYAGAYA

地域の動きや、話題を地域の方々に手伝っていただいて紹介していくコーナーです。



地域の歴史を辿る

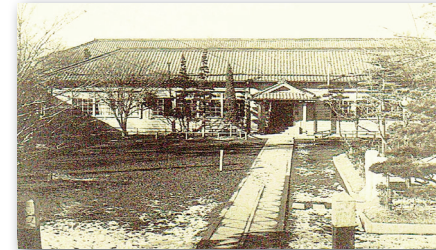
その 34

第34回 「学童集団疎開・続き」について

奥沢地誌保存会・染野和夫

前号では、太平洋戦争の戦況の悪化で日本本土への空襲が激しくなり、学童の集団疎開が行われたこと。そして奥沢地域では、八幡国民学校の学童たちが長野県飯田市でお寺と旅館の六ヶ所に分れて生活、奥沢国民学校の学童たちは長野県松本市市内と同和田村と同波田村の三ヶ所のお寺に分れて生活したこと。波田村に疎開した奥沢国民学校の学童たちが、疎開先での一日の生活の様子を絵手紙に描いて東京の父母宛てに送ったこと、等々について紹介し、その絵手紙の一部を掲載致しました。

今号は、奥沢国民学校の学童の疎開先での生活等の様子について紹介します。松本市内の正麟寺を学寮とし開智国民学校で学んだのは奥沢1丁目の87名の学童たちです。お寺は松本駅から北へ徒歩30分程の処にあり、学校までは10分もかかりません。この学校は明治6年(1873)開校の全国で最も古い歴史ある小学校で、右上写真の旧本館は国の重要文化財に指定されています。学校では地元の子どもと一緒に学び、いじめもほとんどなく親しくしてもらった様です。



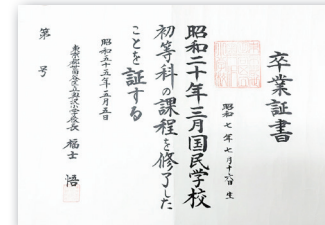
和田村・和田国民学校

松本駅から松本電鉄に乗り換え、北新町駅で下車の和田村の無極寺を学寮とし、和田国民学校で学んだのはやはり奥沢1丁目の74名の学童です。ここではお寺到着時に歓迎会が催されたり、学徒動員で松本に来ていた学生や地元婦人会が頻繁に慰問に訪れ、ご馳走になったようです。地元の子どものいじめも無く暖かく接してくれ、東京の父母の慰問も和田村・和田国民学校も度々あり、学校の教員とも懇談したそうです。この和田村疎開学童たちは度々疎開地を訪ね、後「奥沢和田会」を立上げ、記念碑の建立、合同クラス会の開催など活発に交流を行っています。

波田村の盛泉寺を学寮とし波田小学校で学んだのは東玉川の89名の学童です。波田学寮は松本駅から松本電鉄で約50分の波田駅で下車し、北アルプスの麓にある盛泉寺へ坂道を進みます。途中には農家や桑畑、武家屋敷なども見られたそうです。お寺の本堂で寝起きしていると、あまりの寒さで足が凍傷になる女子や、入院する者まで出たので、危険との判断で寮を11月に地元の農業高校に移転しました。しかし、12月25日に火災のため焼け出され、波田小学校の体育館に避難すると云う惨事にあってしまいます。幸いにも負傷者はいなかったものの身の周りの物は全て焼けてしまいました。



波田村・盛泉寺参道



疎開中の6年生は昭和20年2月27日に卒業と進学のため帰京します。しかし東京は米軍のB29による激しい空襲で甚大な被害を受けています。帰京した6年生の卒業式は開催することが出来ませんでした。左の写真は、本来の卒業の35年後に行われた卒業式で授与された卒業証書です。本来あるべき卒業番号は記載されていません。

進化する日用品



引越の話題をもう一つ。排水口のごみ捨てを楽にするとか、洗濯機下のホースの穴に埃が溜まらないようにするとか、細かくて、しかも絶対に発生する家事を楽にするグッズが、世の中にこんなにたくさんあることに驚きました。

「引っ越し当日にやっておきたい準備！」といったタイトルのSNSの投稿を見ながら、きれいに暮らしていくって大変！と感じてしまいました。



金木犀の秋

あっという間に冬になりそうです。空気に甘い香りが混じると秋を感じます。引越す前の家の近くに金木犀の並木があったのですが、ある日ぱっきり切られていて悲しかったことを思い出しました。でも、あの香りが嫌いな人にとっては、こんなに分かりやすく遠くまで香りが届く木がたくさん生えているのは恐怖かもしれません。あの強い香りには生物上の意味が何かあるのか気になりました。（貴）